



「NGN」 「インターネット」
"vs" or "with"?



東京大学 大学院 情報理工学系研究科 JPNIC 副理事長 江崎 浩 <hiroshi@wide.ad.jp>



### インターネットの父 Dr.Robert Kahn氏との話

(2004年11月)

- インターネットは、**論理的なアーキテクチャである**。スイッチやルータで形成される物理的なネットワークのことではない。
  - インターネットは、デジタル情報が透明に流通する 「コモンズ」の環境を提供する基盤である。
- インターネットアーキテクチャの "鍵" は、選択肢 (Alternatives) の提供にある。通信の面では、複数 のメディアを自由に利用可能にすることになる
- 我々は、過去にアドレス長を長くしてきた。理由は、 利用者に情報通信の透明性を提供することで、新た な可能性の提供を維持するためである。



### オープンシステムの意味(1/2)

1. インターフェースを公開する。

(\*) インターフェース: ハード& ソフト

2. 取替え可能性 = Alternatives(選択肢)の提供

Userにとって: Alternative は大歓迎

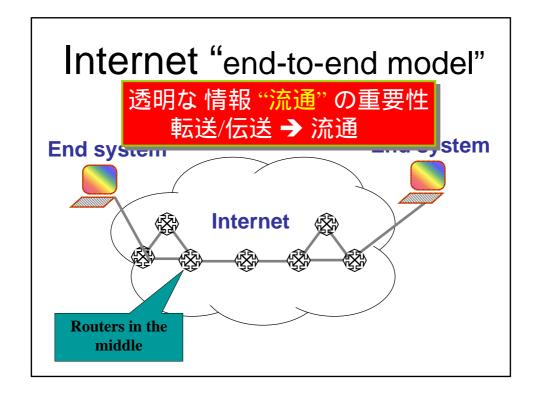
Providerにとって: Alternative は、敵

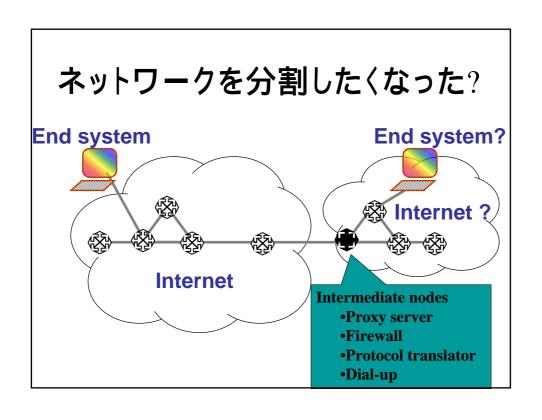
(\*)「いつでも、どこでも、だれとでも」

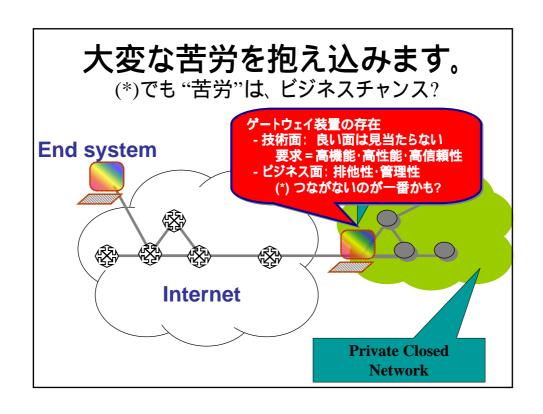
**←→**「いまだけ、ここだけ、あなただけ」

(\*) How to implement "Walled garden"?

→ 選択の自由度 with 選択への知恵







## オープンシステムの意味(2/2)

- 3. 結局は、"選択肢"を増やす
  - 1. 競争の発生
  - 2. コスト削減
  - 3. 機器の協調動作によるより高度な可能性
  - 4. 機器の継続的供給
- 4. ビジネス的観点
  - 1. 合併・吸収・提携 時のコスト削減
  - 2. 事業整理 負荷の削減
  - 3. 企業価値(e.g.,資産価値)の 向上

# 10 points of differences (?) between NGN and Internet

	NGN	Internet
1	IMS as the mandatory "signaling"	SIP as one of "applications"
2	"QoS" is the first priority	"Connectivity" is the first priority
3	"Managed" end-terminal	"Open" end-station
4	"Provider"-based service	"Customer"-based service
5	Seam"less"	Seam-"full"
6	"Requirements" first	"Implementation" first
7	"Peer"-Model	"Overlay"-Model
8	"Back-to-Back" network	"Transit" networking
9	End-"Terminal"	End-"Station"
10	"Media" stream	"Digital" bit-stream

### Naïve な Overlay-Model?

- 初期のWEBサービス:
  - Naïve な Overlay-Model 上での "単純な"Client-Server モデルで運用
- 現在のWEBサービス(含 コンテンツ配信 サービス):
  - 水平方向の分散
  - 垂直方向の分散(=Cache技術)

#### NGNの技術仕様って。。。。

- もしかして、、、、、
  - ITU-T NGN ETSI TISPAN IMS/MMD
  - ITU-T NGN NTT NGN
  - NTT NGN KDDI NGN( IMS) になってたりしますかぁ???
- BISDN(=ATM + AIN) の53バイト固定長セルが、可変長IPパケットになったもの??

# Relation between NGN and Internet - Alternatives -

Plan A; Inter-network

- i. NGN is one of ASes?
- ii. Gateway (Internetworking Points)

Plan B; As one of Datalink Cloud iii. Internet is sitting on the NGN?

### ところで、、、、なぜ、 日本はグローバルじゃないのか?

- マーケット
- 技術標準化
- FM放送の周波数
- TTC

- 携帯電話

- ARIB
- 既存の電話システム

#### 理由(?):

- 1. 自国のマーケットが大きいため、ビジネスモデル を囲い込みで作りた〈なる?
- 2. 優秀すぎる技術者(国際標準より良いものを適用)?

#### さて、VoIPサービスは?

- 複雑な SIPの技術仕様
- 相変わらず国を単位にした規制番号計画、サービス規定など
- プロバイダに閉じたビジネスモデル?



\_\_ やるべきことは?

- 共通な SIP技術仕様
- グローバル&オープン化
- ・ (運用を念頭に置いた)相互接続性の確立

### VoIP/SIP相互接続検証 タスクフォース



Established; December 2004







# **| | | | |** | タスクフォースの目的



- SIPを用いたVoIPシステム間での相互接続性の確 立をマルチベンダー/マルチプロバイダ環境におい て実現するための技術的検証を行う。
- 相互接続性の確認と評価を行うために必要な以下 の環境を整備する。
  - 最低限の評価仕様ならびに試験仕様(公開)
  - 評価仕様ならびに試験仕様に従った試験評価ソフトウェ ア(公開配布)
  - 相互接続性の確認と評価を行うためのイベントの開催
  - 相互接続性の確認と評価を行うためのテストベッド環境 の提供
- 上記目的を達成するためにグローバルな協力体制 確立とビジネス活動に対して貢献する。
  - VoIPシステムのグローバル展開への貢献



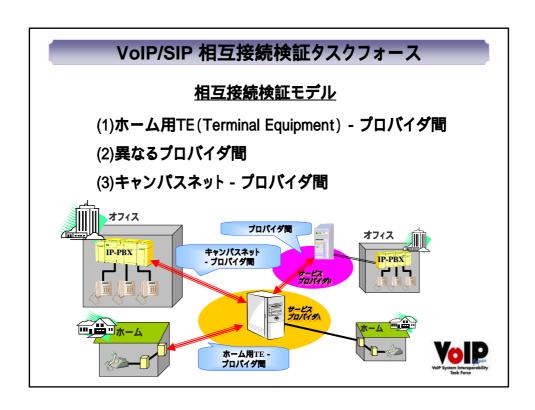
## 設立発起人



- IPv6普及·高度化推進協議会(V6PC)
- 株式会社アズジェント
- ENUMトライアルジャパン(ETJP)
- 岩崎通信機株式会社
- インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス株式会社
- エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジ株式会社
- エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- エヌ・ティ・ティレゾナント株式会社
- 沖電気工業株式会社
- KDDI株式会社
- サンテレホン株式会社
- 伊藤忠テクノサイエンス株式会社
- シスコシステムズ株式会社
- 社団法人情報通信技術委員会(TTC)
- 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ) 高度通信システム相互接続推進会議(HATS 推進会議)
- 砂原秀樹(奈良先端科学技術大学院大学)
- ソフトバンクBB株式会社
- 株式会社ソフトフロント

- 社団法人 テレコムサービス協会 VoIP推進 協議会
- 株式会社東芝
- 中村修(慶應義塾大学)
- 西日本電信電話株式会社
- 日本テレコム株式会社
- 日本電気株式会社
- 社団法人日本ネットワークインフォメーション センター(JPNIC)
- 特定非営利活動法人日本 VoIP フォーラム (VFJ)
- 株式会社日本レジストリサービス
- 株式会社ネットマークス
- 東日本電信電話株式会社
- 株式会社日立製作所
- 富士通株式会社
- フュージョン·コミュニケーションズ株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- 三菱電機情報ネットワーク株式会社
- ヤマハ株式会社
- WIDEプロジェクト

(以上、36社/団体/個人)



#### VoIP/SIP 相互接続検証タスクフォース

#### タスクフォース参加企業・団体一覧

(株)日本レジストリサービス

<参加企業> (株)アズジェント 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 岩崎通信機(株) インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォ マティクス(株) (株)NTTPCコミュニケーションズ エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジ(株) NTTレゾナント株式会社 NECアクセステクニカ(株) NTTコミュニケーションズ(株) 沖電気工業(株) KDDI(株) サンテレホン(株) シスコシステムズ(株) SIPropプロジェクト (有)し一こむ ソフトバンク B B(株) (株)ソフトフロント 西日本電信電話㈱ 日本テレコム(株) 日本電気(株) 日本電信電話(株)

(株)ネクストジェン (株)ネットマークス 東日本電信電話(株) (株)日立製作所 (株)フラクタリスト 富士通(株) 富士通アイ・ネットワークシステムズ(株) フュージョン・コミュニケーションズ(株) (株)三菱総合研究所 三菱電機情報ネットワーク(株) ヤマハ(株)

<参加協力組織>
IPv6普及・高度化推進協議会
ENUMトライアルジャパン
(社)情報通信技術委員会
(独)情報通信研究機構
(社)日本ネットワーク
インフォメーションセンター
HATS推進会議
VoIP推進協議会

WIDEプロジェクト

問い合わせ先: VoIP/SIP相互接続 検証タスクフォース 事務局 voip-tf-info@nic.ad.jp



#### グローバルな接続性の確立 SIPit のホスティング

- SIPit18を日本で開催 (2006年4月17日-21日 at 秋葉原)
- ミッション
  - SIP搭載機器間での相互接続性の確認と確立
  - 技術仕様の検証と曖昧性の明確化
  - 技術仕様の問題点の明確化
  - 技術仕様へのフィードバック
- 欧州、北米、アジアが 各1/3 ずつ。
  - 機器のグローバルスペースでの展開と移動

#### SIPit18th開催での教訓

- グローバル性の重要性を再確認
- 運用と実装の激い1相互作用
- 運用に優しくない 実装と動作
- 運用、実装、標準化の正しい関係の再認識
- ISPとして参加したグループには、激しい数の 相互接続検証申し込み
- どんどん 進む 高機能化/新サービス の実装

# 10 points of differences (?) between NGN and Internet

	NGN	Internet
1	IMS as the mandatory "signaling"	SIP as one of "applications"
2	"QoS" is the first priority	"Connectivity" is the first priority
3	"Managed" end-terminal	"Open" end-station
4	"Provider"-based service	"Customer"-based service
5	Seam"less"	Seam-"full"
6	"Requirements" first	"Implementation" first
7	"Peer"-Model	"Overlay"-Model
8	"Back-to-Back" network	"Transit" networking
9	End-"Terminal"	End-"Station"
10	"Media" stream	"Digital" bit-stream

# Relation between NGN and Internet - Alternatives -

Plan A; Inter-network

i. NGN is one of ASes?

ii. Gateway (Internetworking Points)

Plan B; As one of Datalink Cloud iii. Internet is sitting on the NGN?

#### 守るべきもの

- (ロジカルな)インターネットアーキテクチャ
  - (グローバルな)透明性
  - (グローバルな)接続性
  - (メディアの)選択性 → ユニバーサルな接続性
  - ディジタル情報のグローバルな流通
- グローバル性
  - 技術標準化(forget about nationality, think about global operation and deployment)
  - マーケット&ビジネス展開 (think about global market)

